

CASBEE広島における重点項目の環境配慮設計概要

CASBEE-広島（2010年ver.1）

※下表の空欄に環境配慮設計の概要をコメントしてください。

配慮項目	評価点	重み係数	内訳										
■1.「地球温暖化対策」の推進													
1.1 建物の熱負荷抑制													
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。 設計住宅性能評価における省エネルギー対策等級の等級4に適合。(複層ガラス等の採用)	1.0	0.08	Q1 室内環境	2 温熱環境	2.1 室温制御	3 外皮性能							
	5.0	0.43											
	5.0	0.49	LR1 エネルギー	1 建物の熱負荷抑制									
小計		4.7	0.36										
1.2 自然エネルギーの利用													
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。 全ての住戸で2面以上の採光・通風を確保した。	3.0	0.50	LR1 エネルギー	2 自然エネルギー利用	2.1 自然エネルギーの直接利用								
	3.0	0.50	LR1 エネルギー	2 自然エネルギー利用	2.2 自然エネルギーの変換利用								
	3.0	0.09											
小計		3.0	0.09										
1.3 設備システムの高効率化													
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。□ 燃焼系瞬間式給湯器(潜熱回収型)を採用した。	5.0	1.00	LR1 エネルギー	3 設備システムの高効率化									
	5.0	0.18											
1.4 設備システムの効率的運用													
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。	1.0	0.00	LR1 エネルギー	4 効率的運用	4.1 モニタリング								
	1.0	0.00	LR1 エネルギー	4 効率的運用	4.2 運用管理体制								
	1.0	0.00											
小計		1.0	0.00										
1.5 資源・マテリアル対策													
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。□ 節水型便器、節湯器具を採用した。 また、構造躯体と仕上げの分別を容易にした。	4.0	0.08	LR2 資源・マテリアル	1 水資源保護	1.1 節水								
	3.0	0.12	LR2 資源・マテリアル	1 水資源保護	1.2 雨水利用・雑排水再利用	1 雨水利用システム導入の有無							
	3.0	0.00	LR2 資源・マテリアル	1 水資源保護	1.2 雨水利用・雑排水再利用	2 雜排水再利システム導入の有無							
	2.0	0.06	LR2 資源・マテリアル	2 非再生性資源の使用量削減	2.1 材料使用量の削減								
	3.0	0.19	LR2 資源・マテリアル	2 非再生性資源の使用量削減	2.2 既存建築躯体等の継続使用								
	3.0	0.16	LR2 資源・マテリアル	2 非再生性資源の使用量削減	2.3 車体材料におけるリサイクル材の使用								
	1.0	0.16	LR2 資源・マテリアル	2 非再生性資源の使用量削減	2.4 非構造材料におけるリサイクル材の使用								
	2.0	0.04	LR2 資源・マテリアル	2 非再生性資源の使用量削減	2.5 持続可能な森林から産出された木材								
	4.0	0.19	LR2 資源・マテリアル	2 非再生性資源の使用量削減	2.6 部材の再利用可能性向上への取組み								
小計		2.9	0.26										
1.6 ライフサイクルCO2排出率													
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。 排出率参考値100%に対し78%に抑えた。	4.7	1.00	LR3 敷地外環境	1 地球温暖化への配慮									
	4.7	0.11											
1.「地球温暖化対策」の推進の評価		4.1	0.72										
■2.「ヒートアイランド対策」の推進													
2.1 溫熱環境の向上													
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。	1.0	0.49	Q3 室外環境(敷地内)	1 生物環境の保全と創出									
	2.0	0.24	Q3 室外環境(敷地内)	3 地域性・アメニティへの配慮	3.2 敷地内温熱環境の向上								
	2.0	0.27	LR3 敷地外環境	2 地域環境への配慮	2.2 温熱環境悪化の改善								
	1.5	0.96											
2.2 交通負荷抑制													
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。 駐車場・駐輪場を整備することにより、敷地周辺の交通負荷軽減を考慮した。	3.0	1.00	LR3 敷地外環境	2 地域環境への配慮	2.3 地域インフラへの負荷抑制	3 交通負荷抑制							
	3.0	0.04											
2.「ヒートアイランド対策」の推進の評価		1.6	0.15										
■3.「長寿命化対策」の推進													
3.1 耐用性の向上													
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。 設計住宅性能評価における劣化対策等級の等級2に適合。また外壁には耐用年数の高いタイル貼を採用した。	3.0	0.47	Q2 サービス性能	2 耐用性・信頼性	2.1 部品・部材の耐用年数	1 耐震性							
	3.0	0.12	Q2 サービス性能	2 耐用性・信頼性	2.1 部品・部材の耐用年数	2 免震・制振性能							
	4.0	0.09	Q2 サービス性能	2 耐用性・信頼性	2.2 部品・部材の耐用年数	1 車体材料の耐用年数							
	5.0	0.09	Q2 サービス性能	2 耐用性・信頼性	2.2 部品・部材の耐用年数	2 外壁仕上げ材の補修必要間隔							
	2.0	0.04	Q2 サービス性能	2 耐用性・信頼性	2.2 部品・部材の耐用年数	3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔							
	3.0	0.03	Q2 サービス性能	2 耐用性・信頼性	2.2 部品・部材の耐用年数	4 空調換気ダクトの更新必要間隔							
	3.0	0.06	Q2 サービス性能	2 耐用性・信頼性	2.2 部品・部材の耐用年数	5 空調・給排水配管の更新必要間隔							
	2.0	0.09	Q2 サービス性能	2 耐用性・信頼性	2.2 部品・部材の耐用年数	6 主要設備機器の更新必要間隔							
	3.1	0.47											
3.2 設備の更新性													
(コメント) ※設計の計画上特段に配慮した事項を記載してください。 構造躯体に損傷を与えない事を前提としている。	3.0	0.17	Q2 サービス性能	3 対応性・更新性	3.3 設備の更新性	1 空調配管の更新性							
	3.0	0.17	Q2 サービス性能	3 対応性・更新性	3.3 設備の更新性	2 給水配管の更新性							
	3.0	0.11	Q2 サービス性能	3 対応性・更新性	3.3 設備の更新性	3 電気配線の更新性							
	3.0	0.11	Q2 サービス性能	3 対応性・更新性	3.3 設備の更新性	4 通信配線の更新性							
	3.0	0.22	Q2 サービス性能	3 対応性・更新性	3.3 設備の更新性	5 設備機器の更新性							
	3.0	0.22	Q2 サービス性能	3 対応性・更新性	3.3 設備の更新性	6 バックアップスペース							
	3.0	0.53											
3.「長寿命化対策」の推進の平均点(上記2項目)		3.1	0.13										
■重点項目の総平均(上記3項目)		3.6											